

街頭写真から「色に対する気分」を見ることにする。

- A: 目立つカラー：身に着けているアイテムの中で彩度の高い色動向
- B: 着装カラー：着ている服の色動向
- C: アイテム別動向：カラー中心にデータから見た特徴、街頭写真など



概要

日時 2020年1月19日10度
2019年1月18日9度
場所 神戸元町(神戸大丸近く)
対象 20-50代女性

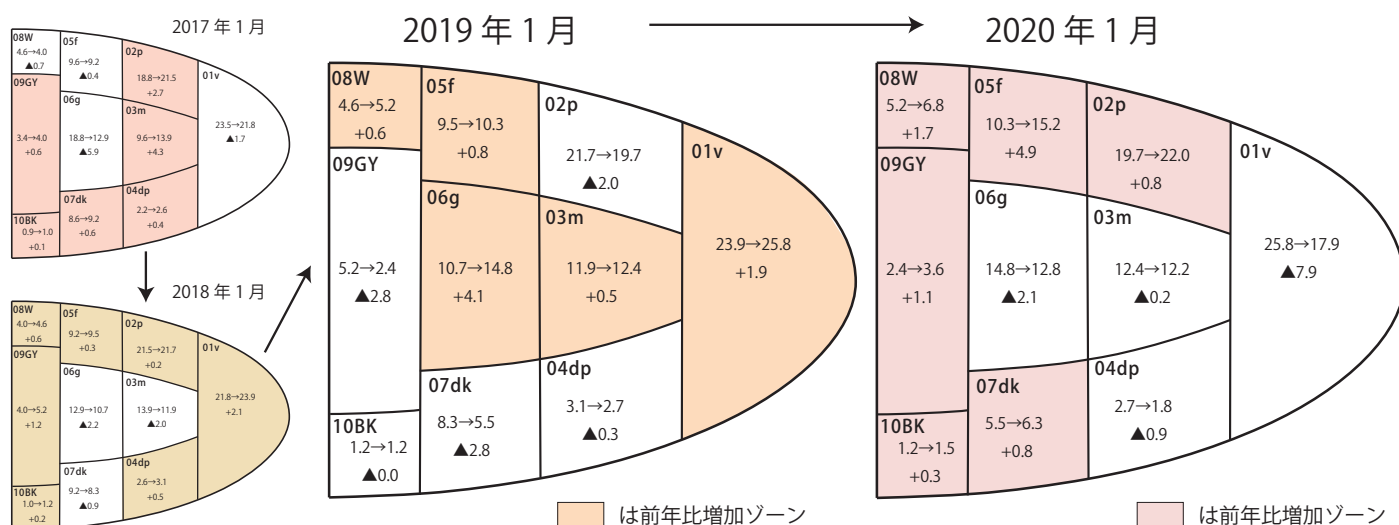
A: 目立つカラー (服以外含む)

身に着けているアイテムの中で、彩度の高いカラー1色を目立つカラーとする。

(同彩度は明るい色優先、柄物などはその中で分量が多く目立つ色 - 色相では彩度の高い暖色系優先)

トーンマップ対応記号順では、01v>02p>03m>04dp>05f>06g>07dk>08W>09GY>10BK となる。

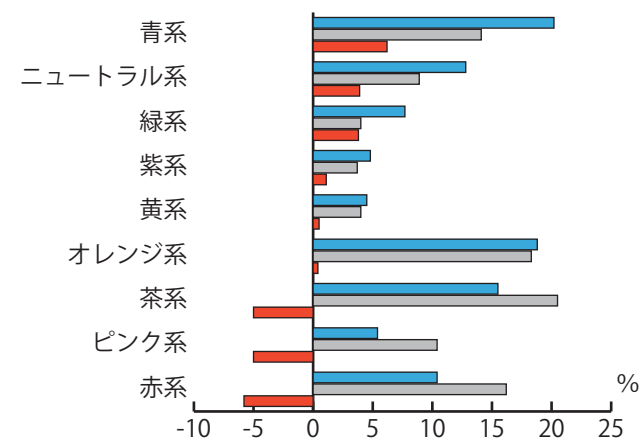
目立つカラーのトーンマップ



グレイッシュg、ビビッドv → かすかなf、ニュートラル全般

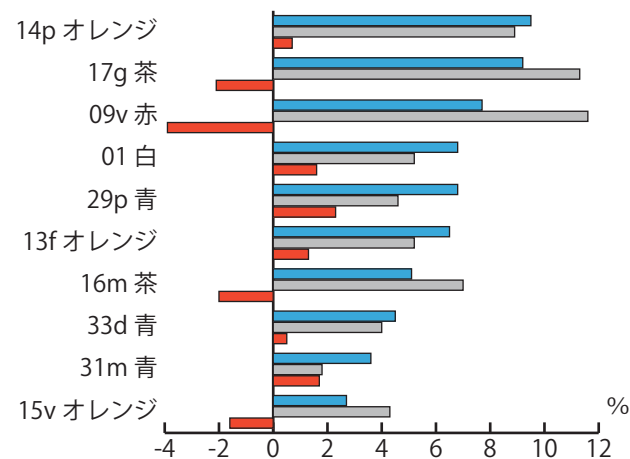
19年にかけて、高彩度方向の復活が見られたが、20年にかけては高彩度が今までに大きく落ち込み、再び低彩度方向が伸びている。かすかな05fの増加が目立ち、白08Wが続き、白に近い明るいカラーが特徴となっている。ニュートラル系は灰、黒方向も注目される。(10BKの数値は、01から09までの色がなく、全身黒になる)

色相集約した目立つカラー増減 (増加順)



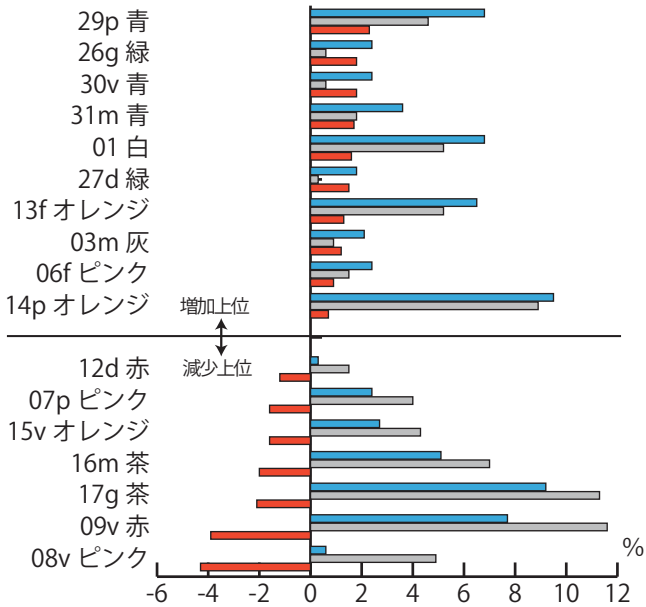
青系中心に寒色系が伸び、赤系などの暖色系が減少している。量的には、オレンジ系、茶系が青系について多い。オレンジ系は継続しており、健闘している。

目立つカラー量的に多い順 (上位)



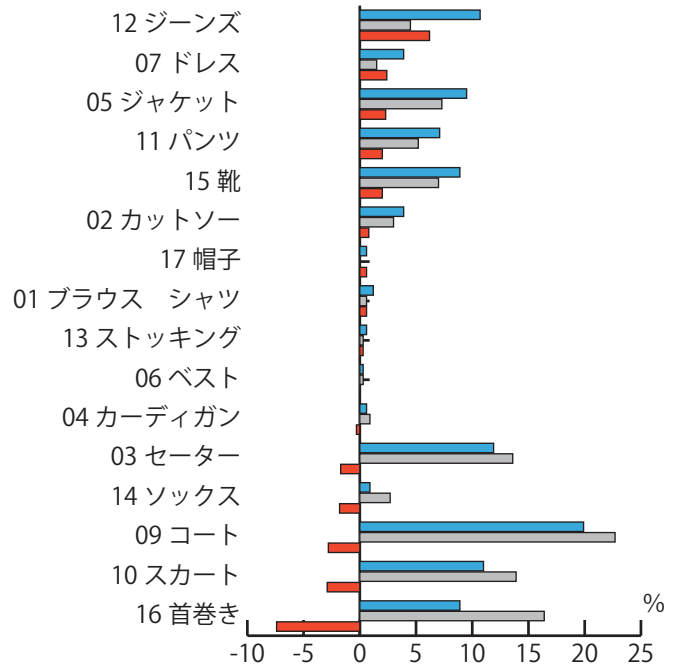
量的に多い10色を見ると、オレンジ系、青系が3色、茶系が2色で目立ち、残りが赤と白となっている。ビビッドの赤、オレンジと茶系が減少以外は増加している。

目立つカラー増減（上位）



増加上位は、青系が3色で目立っているが、右アイテムとの関係で明らかのように、ジーンズの増加が影響している。反対に、減少上位にvビビッドのピンク、赤、オレンジが多いのはアイテムの首巻きの減少によると考えられる。着装カラーがニュートラル、低彩度が多い分、結果として、青の中彩度が選ばれることになる。白、13f オレンジ、06f ピンクは素材ボア使いのジャケット増加の影響とみられる。オレンジは安定して増加、ニュートラルでは、03m 灰が伸びている。

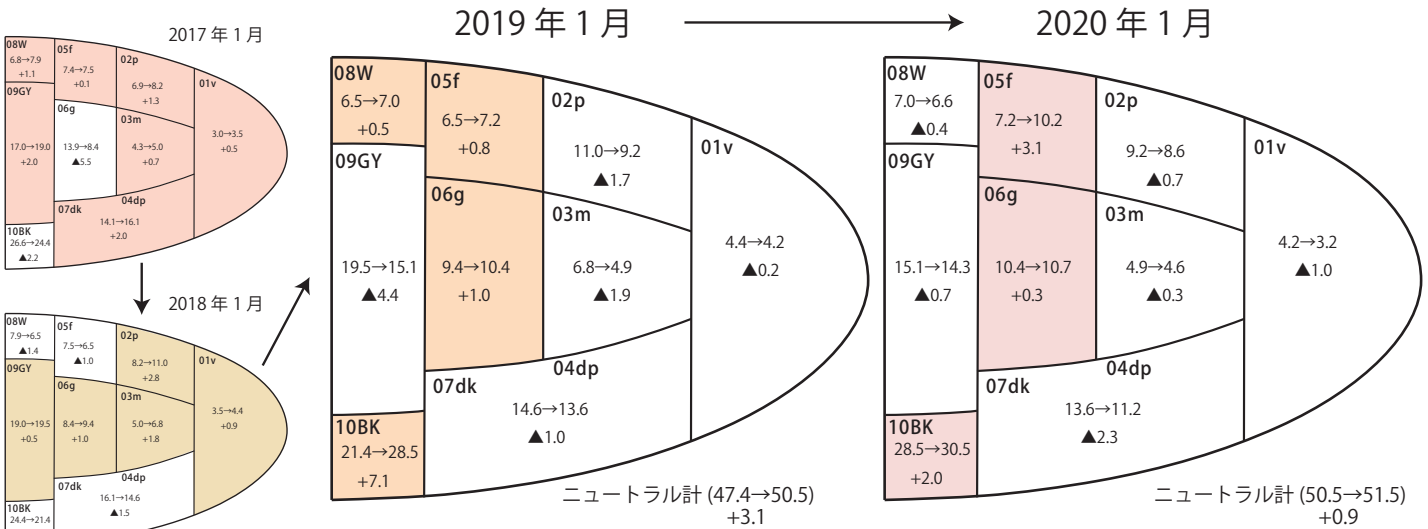
トーン全体のアイテム推移



増加上位のジーンズから靴までの5アイテムの中に、ボトムアイテムのジーンズ、パンツが2つも入っている。後述パンツの着装カラーを見ると、青系がダークからパール、モデレートと明るい方向に広がっている。上位アイテムは彩度アップとなるが、反対に、下位アイテムは彩度が19年度より抑えられたことが分かる。首巻きを見ると、黒が増加で目立ち、灰も増加、反対に、ビビッド赤など赤系が減少している。

B: 着装カラー 街頭で見た印象に近い着装カラー（服のみ）

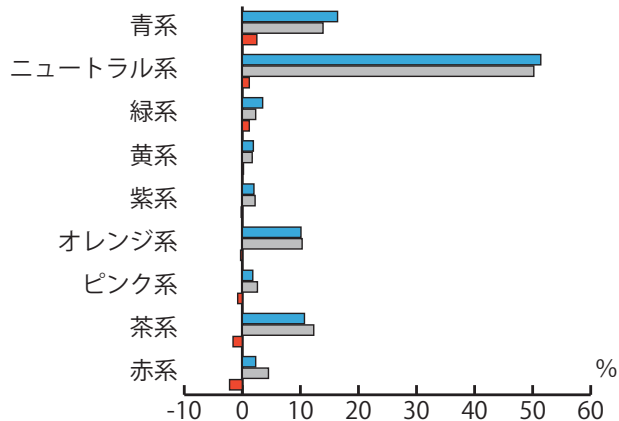
着装カラーのトーンマップ



増加トーン3つは同じだが、05f 増加と 10BK の減少が目立つ

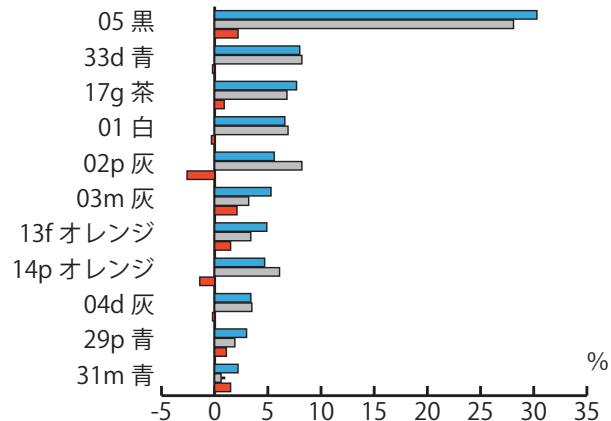
18年から19年にかけて大きく変化、高彩度方向が減少、低彩度、ニュートラル系が大きく増加したが、20年は前年同様な傾向となっている。トーン分布ではほとんど同じだが、増加階分の数値では大きく変化してきている。黒BK増加は、増加だが、数値は大きく減少している。(+7.1から+2.0に) 反対に、05fは+0.8から+3.1へと伸びている。ミディアムグレイの増加により、グレイGYの減少も少なくなっている。

色相集約した着カラー増減（増加順）

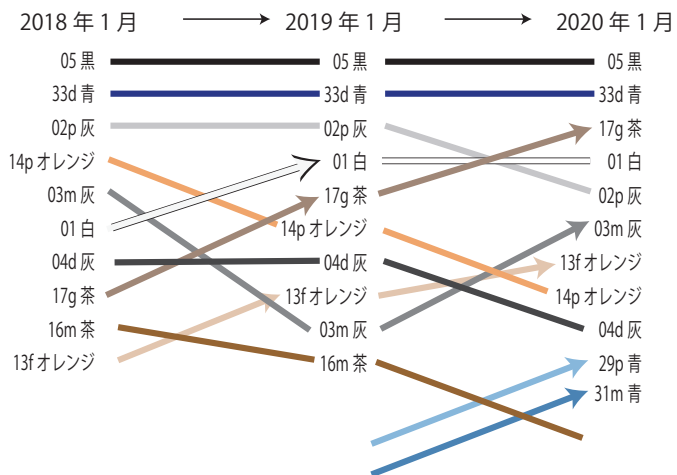


目立つカラー同様に、青系、ニュートラル系、緑系が続く。
減少は、赤系、茶系が多い。
ニュートラル系が量的に多く目立っている。

着カラー量的に多い順（上位）

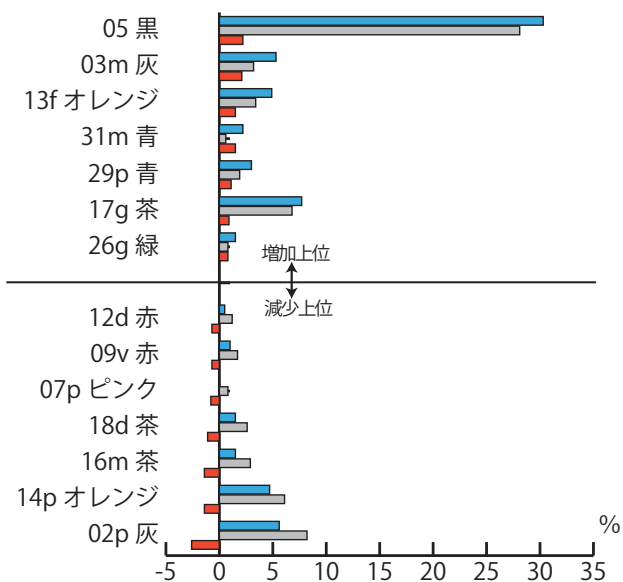


量的に多い順位の3年推移チャート



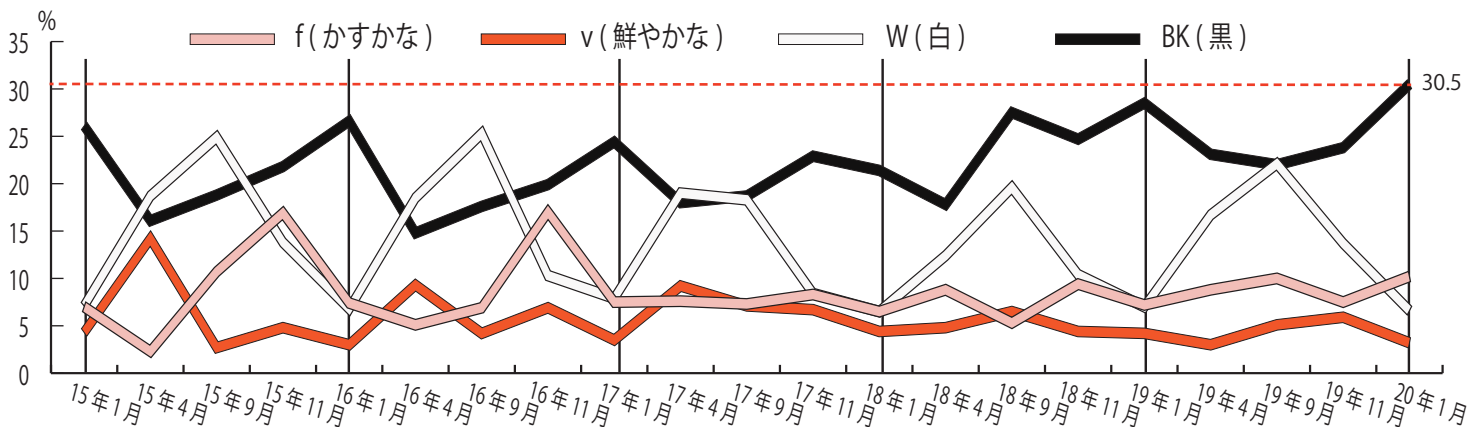
量的に多い11色を見ると、ニュートラル系が5色入っている。
黒 > 白 > p 灰 > m 灰 > d 灰順
青系は3色、33d 青が量的に多いが、伸びでは、p 青、m 青がリードしている。
3年推移では、20年にかけて元気な色はg 茶とf オレンジが伸びている。
中彩度 p、m の色相では、オレンジ、茶に変わって青が登場している。

着カラー増減（上位）



詳細カラーでは、黒とm 灰がリード、白周辺のf オレンジ、m&p 青、g 茶、g 緑が続く。
減少は、p 灰、p オレンジ、p ピンク、茶、赤が続く。

着カラーのトーン推移(2015年1月~2020年1月)



黒、白、かすかな、鮮やかなトーンの5年推移グラフでは、黒推移に注目、18年9月から増加傾向が目立ち始め、20年1月も更に増加となっている。白が目立つ4、9月でも18年からは黒が上回っている。20年1月は白が少ない分、f かすかな色が上回っている。
v 鮮やかなカラーは17年までで、それ以降は伸びていない。

C: アイテム別動向：カラー中心にデータから見た特徴、街頭写真（カラーナンバー 40 番からは柄物）

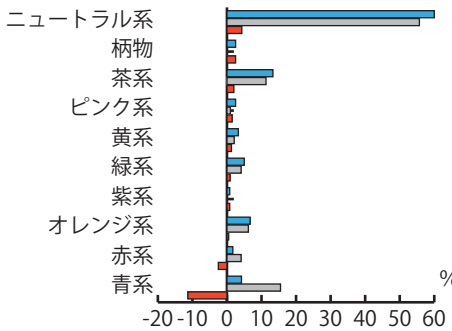
冬シーズンでは、アウター中心に見ることにする。

トップスでは、ジャケットの増加、その分コートが減少、ボトムスでは、パンツの増加、スカートの減少が見られる。

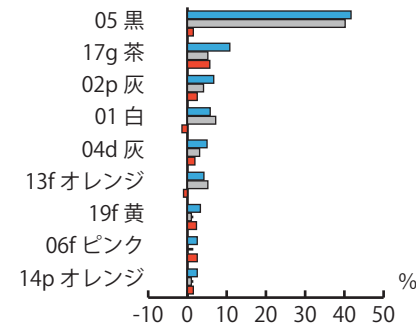
ジャケット

ボアタイプ素材が急増、その分、ダウン(中綿)、中厚地、裏(ボア中綿)が減少。白、かすかな、明るい灰みカラーが多く使われる。

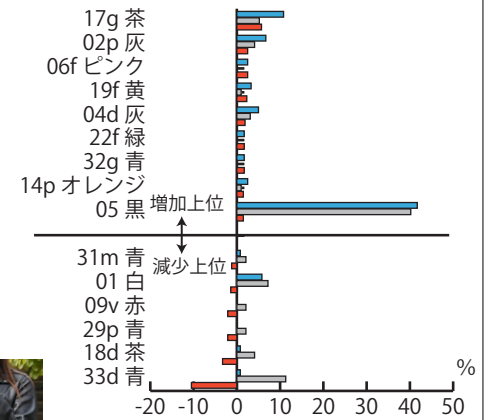
集約した色相増減 (増加順)



詳細カラー量的に多い順 (増加順)



詳細カラー増減 (上位)

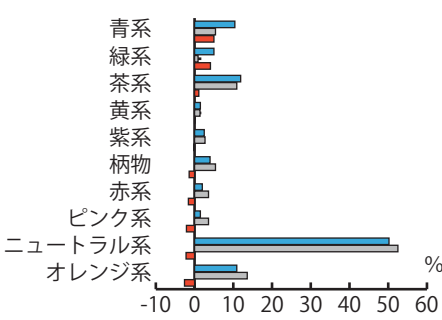


ニュートラル系増加、黒は安定だが、青系減少、ダーク青の減少が目立つ
 詳細カラーでは、17g 茶が増加トップ、かすかなカラーが続く。
 グレイも人気、ボア素材の影響。
 (ニュートラル系 19年1月 55.7 20年1月 60.0 増減+4.3)

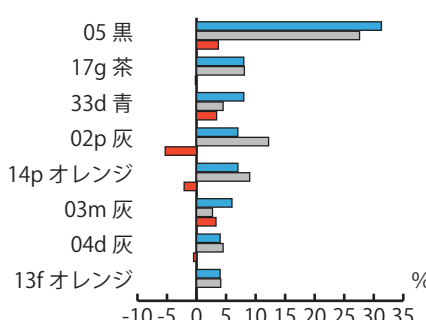
コート

コート素材はウール中厚タイプは減少だが、ダウン、中綿などは少し増加。コート丈はミニ系が減少して7分丈が増加している。

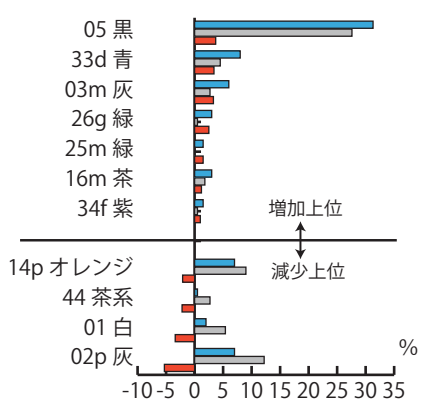
集約した色相増減 (増加順)



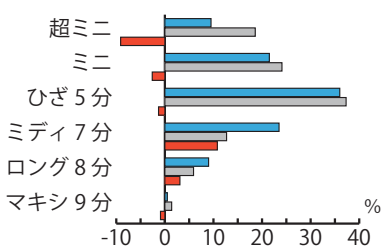
詳細カラー量的に多い順 (増加順)



詳細カラー増減 (上位)



コート丈増減



ニュートラル系は減少だが、黒は更に増加で目立っている。

(ニュートラル系 19年1月 52.5 20年1月 50.2 増減-2.2)

集約した色相で青系の増加1位は、33d 青がリード。

その他の青も増加となっていることによる。

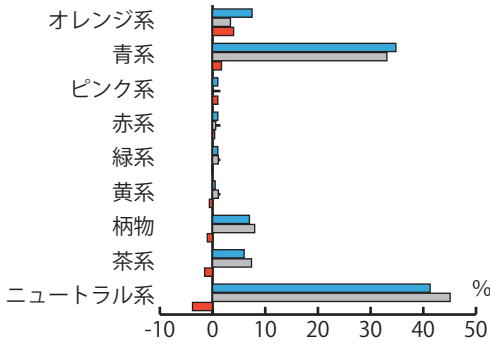
3位緑系では、26g、25m 緑の増加による。オレンジ系は減少だが、茶系は量的に安定している。



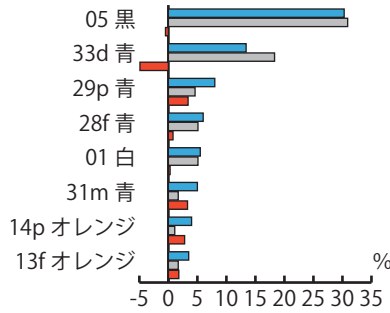
パンツ

パンツ中では、グラフの通り、バギーが減少して、スリムが増加だが、バギーの減少は普通パンツで、スリムの増加はジーンズで目立っている。

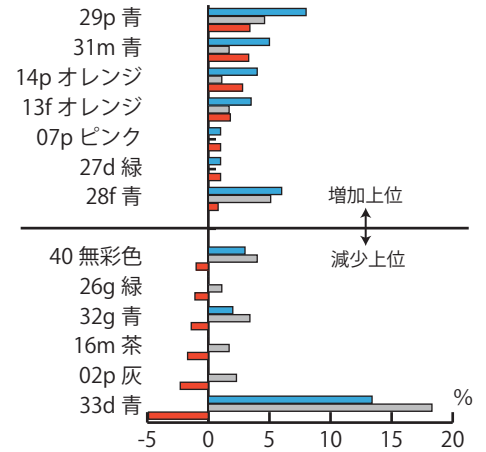
集約した色相増減 (増加順)



詳細カラー量的に多い順 (増加順)

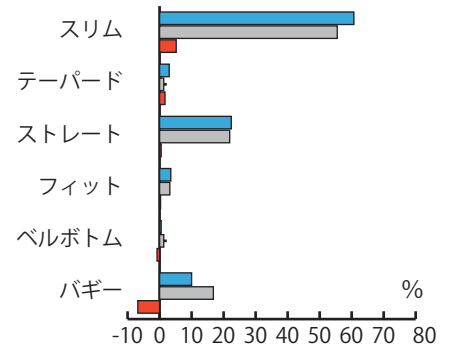


詳細カラー増減 (上位)



ニュートラル系は減少1位、白、黒変化が少ないが、グレイ減少による。
 (ニュートラル系 19年1月 45.1 20年1月 41.3 増減 -3.8)
 青系増加は d 青がかなり減少も、p、m、f 青の増加でプラスとなっている。
 集約色相増加1位のオレンジは p、f オレンジの増加による。

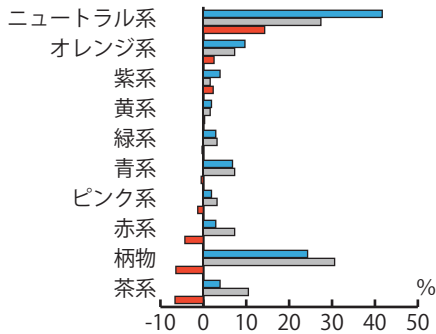
パンツ巾増減



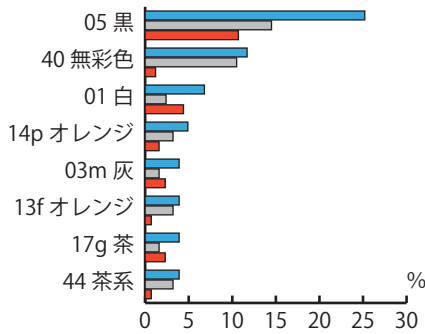
スカート

スカート丈は更に長くなり、5分丈が減少して8分丈、9分丈が増加している。
 (2019年はミニ丈が減少7分丈増加、2020年はさらにロング方向となっている)

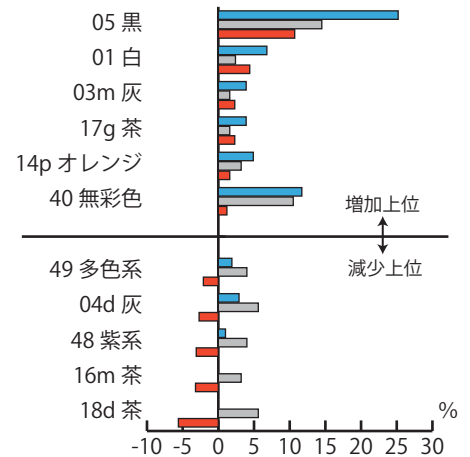
集約した色相増減 (増加順)



詳細カラー量的に多い順 (増加順)

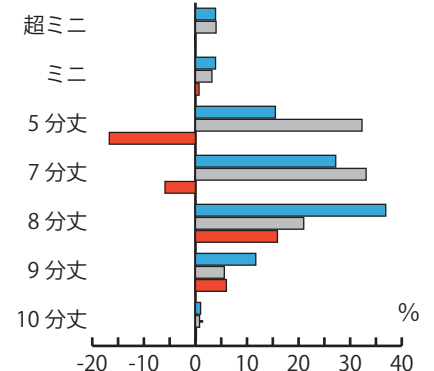


詳細カラー増減 (上位)



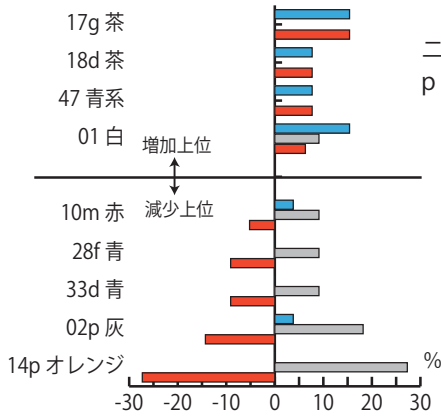
ニュートラル系は大きく増加、黒、白増加による。
 (ニュートラル系 19年1月 27.4 20年1月 41.7 増減 +14.3)
 (詳細カラー上位6色中、4色占めている)
 オレンジ系は p、f オレンジがリードする。
 減少の茶系では、d、m 茶が大きい、その中で、g 茶は増加4位と健闘している。
 柄物は 30% から 24% に減少、チェックが大きく後退、小花、小柄が伸びる。

スカート丈増減



ドレス

詳細カラー増減 (上位)



ニットドレスが人気。

ドレス丈は長くなる傾向で、ミニより5分丈、ミディよりロングへ移行する。

色相集約では茶系、柄物が増加、オレンジ、青系が減少。(グラフは省略)

(ニュートラル系 19年1月 36.4 20年1月 30.8 増減 -5.6)

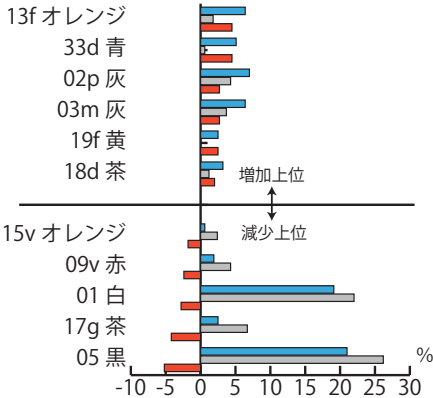
ニュートラル系では、白は増加、p 灰は大きく減少している。

p オレンジより色みを抑えたg 茶などに移行している。



ニット

詳細カラー増減 (上位)



詳細カラー増減を見ると、ニュートラル系はグレイ増加で目立つも、それ以上に白、黒は大きく減少。d 青、d 茶は伸び、v 赤、g 茶は減少している。

色相集約では、青、紫、黄、オレンジ系が増加、

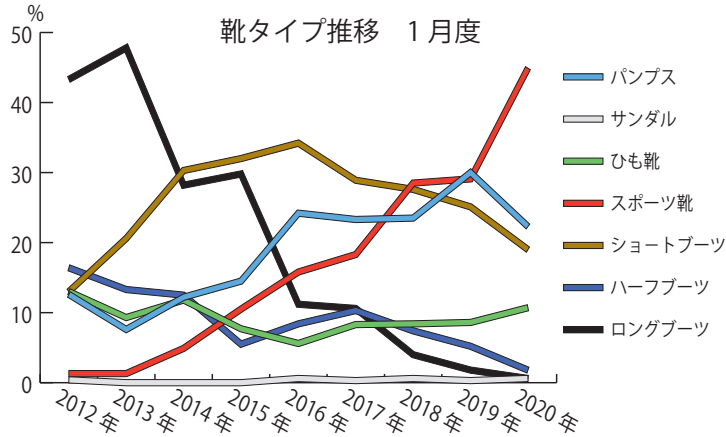
赤、茶、ニュートラル系が減少。(グラフは省略)

(ニュートラル系 19年1月 57.3 20年1月 55.4 増減 -1.9)

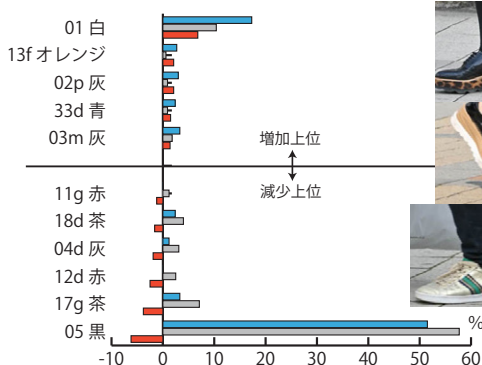


靴

スポーツ靴の伸びが大きく、増加1位、少しだが、ひも靴健闘
ロング、ハーフブーツはほとんどなくなる。
スポーツ靴伸びで、白が大きく増加、白周辺の明るい色も伸びる。
スポーツ靴増加で、靴底展開が期待される。



靴カラー増減 (上位)

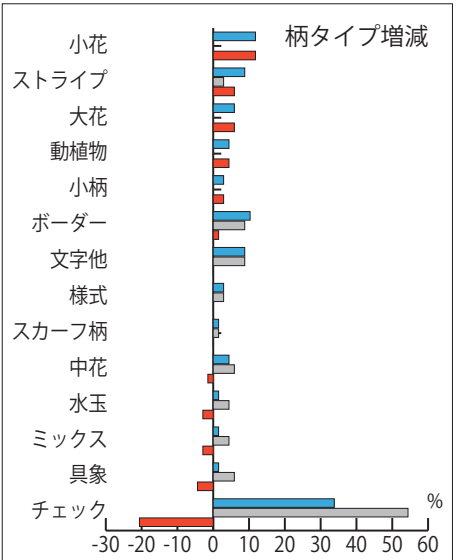


柄

花柄、小柄が増加、
大きくチェックが減少、コートとスカート
で見られる。

コートは単に減少だ
けだが、スカートは
小花、小柄、動植物
に変わっている。

柄物増加はドレス、
パンツで見られる。



(1.4 ~ -1.4 は省略)

増減	ドレス	パンツ	ブラウス	スカート	コート	計
小花	2.9			8.8		11.8
ストライプ		1.5	1.5	1.5		5.9
大花		1.5		1.5	15	5.9
動植物				2.9		4.4
小柄				2.9		2.9
ボーダー	1.5			1.5		1.5
中花	1.5			-4.4		-1.5
水玉				-1.5	-1.5	-2.9
ミックス				-1.5		-2.9
具象				-2.9		-4.4
チェック		2.9	1.5	-14.7	-13.2	-20.6
計	7.4	5.9	2.9	-8.8	-13.2	